

# 研修報告

1. 研修報告書
2. 質問項目についての報告

氏名	YANG YAKUN		
	印		
所属大学	九州大学	学部	農学部
学科	生物資源環境	学年	4年
専門分野	バイオインフォマティック		
派遣国	オーストリア	Reference No	AT-2018-1017BO
研修機関名	University of Natural Resources and Life Science	部署名	Biotechnology
研修指導者名	Patricia Pereira	役職	PhD student
研修期間	2018 年 8 月 20 日 から 2018 年 10 月 15 日 まで		

【事務局使用欄】

受領日：

## I. 研修報告書

1. 研修報告の概略を 1 ページ以内にまとめてください。
2. 研修内容および派遣国での生活全般について 4 ページ程度で具体的に報告してください。  
(研修日誌、テクニカルレポートや単位認定用のレポートの内容を含んだもの。写真もあるとよい。)

# 研修報告書

ヤン ヤクン 九州大学農学部四年生

2018.10.22

## 1. 研修報告の概略を1 ページ以内にまとめてください。

今回の研修で感じたことは、common parts of different culture です。日本と、ヨーロッパの文化はすっかり違うものの、共通の部分を発見していくたびに、楽しさが増えていくことに気づきました。今回の報告書は、「同」と「異」について、今回の研究生活を報告したいと思います。

### 異—文化と言語

1 共通語はドイツ語で、オーストリアでは皆んな基本的に英語喋れるんですが、電車や、スーパーマーケットでは英語が書かれてないため、ドイツ語を少し勉強するか、グーグルにドイツ語の言語パッケージをダウンロードすることが便利だと気づきました。外見から言葉まで何もかも違うので、最初はその原因で色々注目を浴びたのですが、徐々に文化の違いより、コミュニケーションの意欲がオーストリア人と仲良く慣れるかを左右していく。

### 同—文化と言語

お酒と言葉は、距離を縮める最も早い手段だと実践で気づきました。

### オーストリアについて

王家の文化でヨーロッパに輝くウィーン、観光地が多いだけでなく、交通手段が整っているため、旅行がとても便利だと実感しました。

## 2. 研修内容および派遣国での生活全般について 4 ページ程度で具体的に報告してください。

(研修日誌、テクニカルレポートや単位認定用のレポートの内容を含んだもの。写真もあるとよい。)

### 異文化と言語

日本に来るのも、私にとっても異国なんですけど、同じ文化の背景を持つ日本は、あまりカルチャーショックを受けることはなかったです。オーストリアについての瞬間、周りで歩いてる人が全部白人で、街でなされてる言語は全てドイツ語で、本当の意味で「外国」に来たと実感しました。

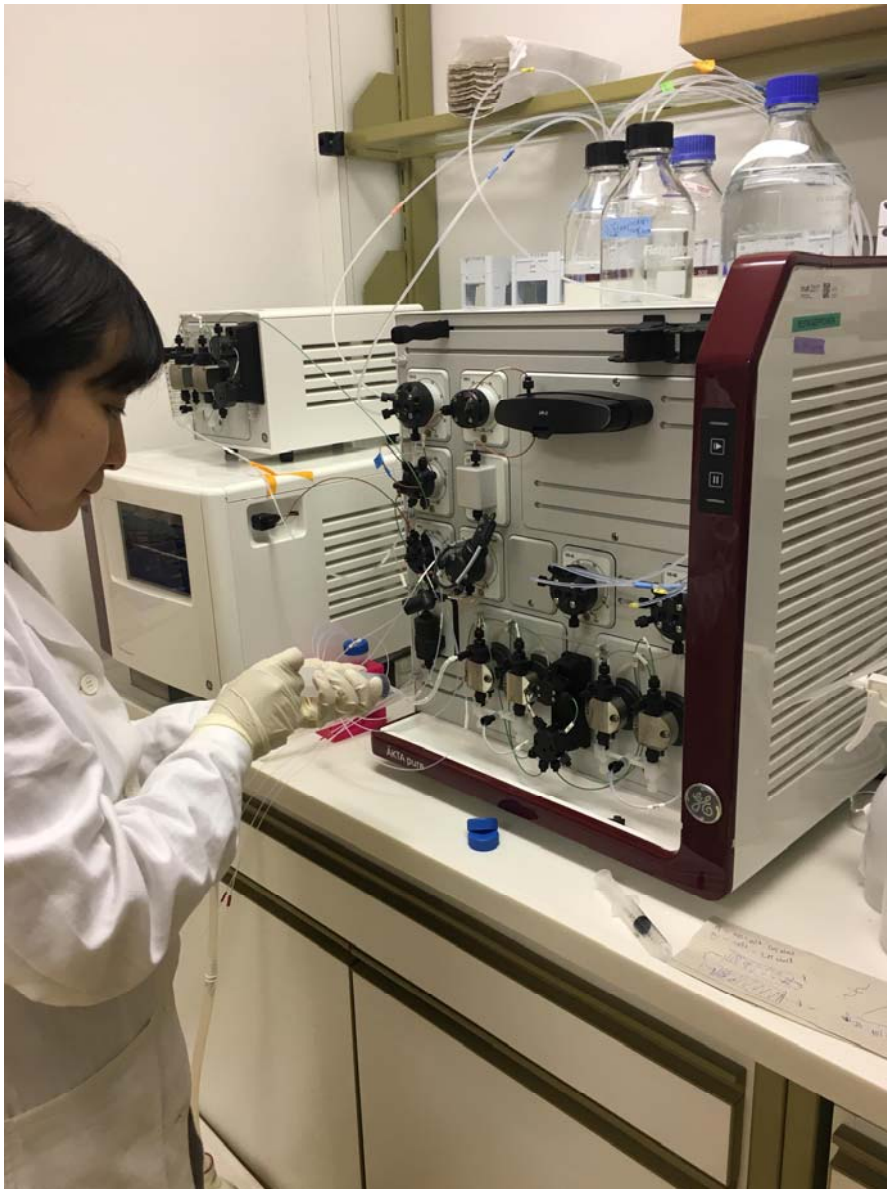
英語が通じて、アジア人の顔の市民を持つアメリカとは違い、私はアジア人の顔を持つ事だけにより、時々視線を感じます。ショッピングするときも、電車に乗るときも、全然英語の説明がないため、グーグルと、周りの人に聞く事でなんとか最初の一週間を生き残りました。最初はやはり、自分が彼らにとっての「外国人だな」という意識が、非常に強かったです。

オーストリアは、大体英語が通じるので、道に迷う時や、生活上で困った時は、英語で周りの人に聞けば親切に教えてくれます。ラボでも、皆さんは親切に英語で喋ってくるんですが、やはり地元の人同士の会話は、普通ドイツ語です。普段ドイツ語で何を話して、何を楽しく話してるのだろうと、心のモヤモヤが止まりませんでした。英語で会話をするのは問題ないと思うんですけど、やはり地元の人と深い会話をしたいと思うと、ドイツを勉強した方がいいと思います。



同じラボの同僚

こちらのラボでは、Virus Like Particle という、人工で作上げたウィルス類似物を検出、extract する研究に参加させていただきました。Virus Like Particle は、ウィルスの形や表面のタンパク質を持っていながら、内部の遺伝子が全部欠けてる為、人間には感染出来ませんが、免疫反応がトリガーされます。VLP は次世代のワクチンとして見られてる為、host cell から作り上げた後、安く純度高く大量にエクストラクトする方法を探るのが、私の担当を務める研究員の研究だそうです。VLP の検測などの手順で、Äkta Pure、HPLC など、大変値段の高い機械の操作を教えてくださいました。本当に親切な人です。私はあまり実験が得意ではなかったのですが、指導してくれた研究員は、私がしたミスに対して、指摘などは一切せず、その代わりに失敗の理由を細かく聞いて来ました。外国では、「失敗は成功の元」という失敗の見方は、日本より強いと私は思いました。他のラボはどうかまだ調べてないんですけど、このラボは五時ぐらいで人がもういなくなるケースが多いです。特に金曜日になると、3時ぐらいでもう人がなくなるとときも少なくはありません。



ÄKAT の操作

皆は基本、ラボの仕事とプライバシーをきちんと分けてるケースが多いです。日本のラボは家族みたいな感覚ではなく、このラボでは、お互いは同僚、いわゆる仕事上の付き合い仲間という感覚の方が強いと思います。もちろんラボメイトで飲みに行くこともあります、それはラボの中で親しい人同士の行為で、ラボ全体が参加することではありません。

文化や言語の違いで、最初は慣れることは難しかったんですけど、幸い周りの人に親切なサポートを受けれたため、なんとか異国の生活にはなれました。オーストリア人は、私がアジア人ということによって、対応の態度は変わることがなかったです、最初はアジアのことをものすごく聞かれたんですけど、だんだん私個人の趣味や、個性について聞いて来ました。文化で人を見分けるだけじゃなく、個人個人の個性を知りたいという意欲がものすごく伝わって来ました。

## 同一文化と言語



最初は、どうやって会話を開くかを色々悩んだんですけど、たまたま私が滞在する期間で、当地のオクトバーフェストや、新製ビールのリリースイベントが色々ありましたので、ラボメイトと色々参加しました。ビールを飲みながら気づいたことは、アルコールで、人の距離が縮まるということです。普段話しかけてくれない人も、英語でものすごく話書けられたり、普段聞く機会のない面白い話をシェアしてくれたり、この時点で、お酒は、違う国の文化を繋ぐ唯一無二の架け橋だと思います。ですが、私と彼らと酒の量で勝負することではなく、最初っから叶わないと伝え、無理やり飲まされることはなかったです。オーストリアの人は、ドイツの人ほど酒を好んでるわけではなく、バーで、リラックスしながら飲むのが一番普通の状態です。



#### 教授たちとの飲み会

お酒ほどではありませんが、ドイツ語を少し学ぶのも、人との距離を縮ませる有効な手段でしょう。ドイツ語の挨拶は英語と似ているため、基本レベルを取得するには、あまり難しいことではないでしょう。日本語をわかる方には一つの魔法の言葉があり、発音も意味も、日本語の「あそう」と同じです。これはドイツ語で頷いてるのをイメージしてる表現なので、いろんな場合で使うことができます。私



は時々、皆んなが一言話終わった時に、不意に「あそう」と言い頷き、その一言から生まれた笑い声が、私を彼らの会話を始めるきっかけになる場合も少なくはない。

コミュニケーションの意欲があれば、お酒と、基本レベルの言語を通じて、どんなに文化が違っても、お互いには仲良く慣れると思いました。

## オーストリアについて

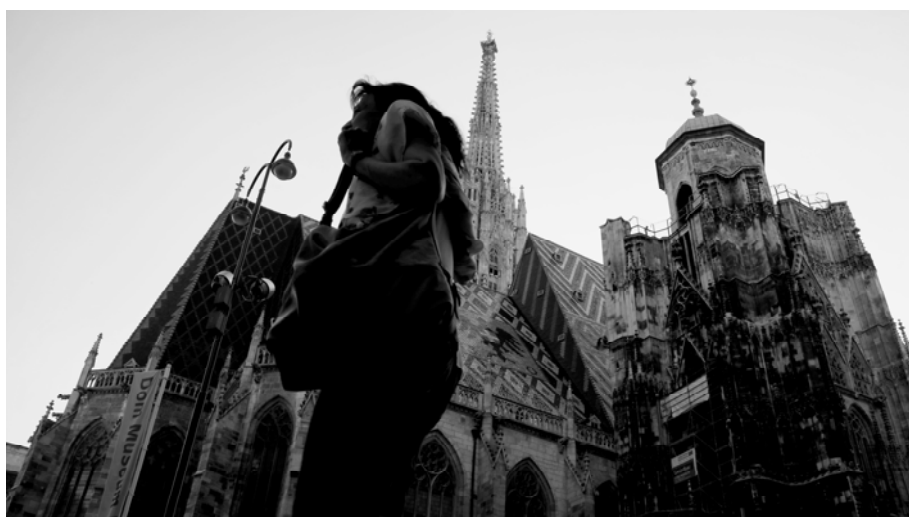
ウィーンは、元帝国の都市であるため、多くの宮殿や、王家に関する文化遺産が存在します。

一番有名なのは、シャンベロン宮殿。百年前に、元王妃エィザベス(シシー姫)が王ジョセフと住んでる宮殿なんですが、長い間文化遺産として大切に保存されているため、今でも当時の様子が保たれている。オーストリアは、文化遺産の保護にもものすごく力を入れていて、古い建物は、新しく立て直さず、代わりに定期的に修繕している。

オーストリア内での交通手段が非常に発展しているため、市内で観光するときも、オーストリアの他の都市に観光するときも、生き方と学生割引を紹介してくれる ÖBB というアプリを使えば便利でしょう。国際旅行も、基本的に ÖBB など安いチケットが予約できるため、隣のプラハや、ドイツに旅行するのもオススメです。私から見たオーストリアは、ヨーロッパの中心にあり、ヨーロッパ各地に繋がりを持つ心臓とも言える国です。



チェコの教会



St. Stephen Cathedral

## Ⅱ. アンケート

以下の質問にお答えください。

### A. 研修内容について

1. 研修内容は、O-form に記載されていたとおりでしたか。(はい・いいえ)  
「いいえ」と答えた場合、どこが違っていたか具体的に記述してください。
2. 就業時間は、O-form に記載されていたとおりでしたか。(はい・いいえ)  
実際の就業時間: 1日( 8 )時間  
1週( 56 )日間;( 月 )曜日から( 金 )曜日
3. 研修先から支払われた“滞在費”は、現地通貨で週いくらでしたか。“滞在費”の内訳と日本円に換算した金額をあわせて書いてください。  
週単位: 現地通貨( 267ユーロ )日本円( 34593 )  
全支給額: 現地通貨( 1600ユーロ )日本円( 207195 )
4. 研修先から支払われた“滞在費”は、生活するのに十分なものでしたか。(はい・いいえ)  
「いいえ」と答えた場合、何にいくらぐらい足りませんでしたか。
5. “滞在費”はどのように支払われましたか。(例:現金手渡し・銀行振込・小切手等)  
銀行口座に振り込み
6. 研修中の滞在先について、宿舍の形態、周辺地域の環境や治安について詳しく記述してください。  
現地のイアエステスタッフが紹介してくれた学生寮に住みました。部屋はシェアルームなはずなんですが、最後の十日ぐらいだけルームメイトがいました。周辺は、他の学生寮もあるため、時々外国人の学生が外で大声を出してる時もあります。治安は基本的に良好です、駅にも、バス停にも歩ける距離なので、生活上は便利です。
7. 研修中の滞在先(宿舍)から研修地までの通勤について書いてください。(交通の便・手段・費用等)  
歩いて10分ぐらいの距離です。
8. 研修先での職場環境(人間関係)は良かったですか。(はい・いいえ)  
「いいえ」と答えた場合、不満だった点を書いてください。
9. 研修において、何か特別なプロジェクトに参加しましたか。(はい・いいえ)  
「はい」と答えた場合、参加したプロジェクトの内容を記述してください。
10. 研修において、あなたの語学力(O-form に記載されている Required Language)は客観的に見て十分だったと思いますか。(はい・いいえ)

### B. 生活について

1. 研修以外の時間(勤務時間後や週末)はどのように過ごしましたか。

ウェーンは、観光地がとて多く、週末は自然や、博物館などに行きました

2. 研修地で IAESTE 事務局主催の催しに参加しましたか。(はい・いいえ)

「はい」と答えた場合、参加したプログラムの内容とあわせて感想も書いてください。

自分の予定があるため、イアエステの活動はあまり参加してませんが、何人かの現地メンバーと一緒に遊んだり、旅行したりしました

3. 派遣国で、その国の伝統文化に触れるような機会がありましたか。(はい・いいえ)

「はい」と答えた場合、どのようなものに参加したか、感想も詳しく書いてください。

同じラボにビアの brewery を開いてる人がいて、何回も彼の招待で他のラボメイトと一緒にウェーン現地のビアを飲みました。

4. 派遣国の印象を、現地へ行く前と行った後のイメージの変化も含め、詳しく書いてください。

ウェーンは、想像通り綺麗でした。ウェーンは文化遺産も多く、自然の景色も綺麗で、住みやすいところだと私は思ってます。最初は英語が通じるかどうか心配でしたが、基本英語がわかる人が多く、ドイツ語わからなくとも、なんとかなりました。

5. 研修国で、日本のことについて質問をされましたか。(はい・いいえ)

「はい」と答えた場合、特に印象に残った質問、面白かった質問、あなたが返答に困った質問などがあれば、それにどう答えたかも含めて書いてください。

日本人はなんでしょっぱいものが好きですか？(お土産のセンベに対する質問ですが、なんでしょっぱいのが好きなのですかね？)

## C. IAESTE との連絡

1. 研修出発前、手続き上何か問題がありましたか。(はい・いいえ)

「はい」と答えた場合、問題点を詳しく書いてください。

2. 派遣国への入国時に何か問題がありましたか。(はい・いいえ)

「はい」と答えた場合、問題点を詳しく書いてください。

3. 派遣国到着後、宿舎ならびに研修先へ自分ひとりで行きましたか。(はい・いいえ)

「いいえ」と答えた場合、誰と行きましたか。

現地の事務所のサポーターと一緒に行きました。

4. 3で「派遣国の IAESTE 事務局」と答えた場合、IAESTE 事務局はどのように関与していましたか。

出発前から連絡を取っていたなど、分かる範囲で具体的に書いてください。

Whats app でまず連絡を取り、現地の駅で待ち合わせしました。

5. 研修初日、研修先の受入準備体制は万全でしたか。(はい・いいえ)

「いいえ」と答えた場合、何に不備があったか書いてください。

6. 研修前から研修期間中、派遣国の IAESTE 事務局は、どのように関与していましたか。

研修期間中、問題が起こったときに適切な対応もしくは助言をしてくれましたか。

研修開始後は、ほとんど関与はしてません。時々現地事務局の主催イベントに参加したり、現地メンバーと一緒に

に旅行したりすることはあります。

## D. その他

1. 今回の IAESTE 研修を通して、最も良かったと思うことを書いてください。

外国の研究者の研究方法を学ぶ事や、研究環境を体験することができた事です。

2. 研修予定内容に関して事前に勉強をして行きましたか。(はい・いいえ)

「はい」と答えた場合、何を勉強し、どう役立ったかを書いてください。

「いいえ」と答えた場合、事前に勉強をしなかった理由を記述してください。

研修先から送られた論文に書かれた知識を、理解した上で研修に参加しました。

3. 研修終了時に、受入企業に研修レポート(Technical Report, Training Diary を含む)を提出しましたか。

(はい・いいえ)

4. 日本出国前に準備しておいたほうが良いと思われることを書いてください。

一ヶ月生活できる現金、ヒートテック(気温の変化が激しいオーストリアの秋とても役立つ)、クレジットカード

5. 所持金やクレジットカード等、いくら・どのように持参されたか、また準備が十分であったかを書いてください。

翌月の十五日が支払日で、1000ユーロ相当の金額を持っていき、ギリギリ一ヶ月15日は持ちました。来る前に、もし可能でしたら、研修先の支払日を聞くのがオススメです。

6. 日本から持参した物の中で、特に役に立ったもの、あるいは必要なかったものがあれば書いてください。

1. ヒートテック(本当に役に立ちました)とお土産 2. 特にありませんでした

7. 来年以降、あなたが派遣された国へ、研修生として派遣される候補生に向けての助言を書いてください。(研修のことだけでなく、語学面や生活面など、気が付いたことはできるだけ詳しく)

事前に研修先からもらった論文を読むことをお勧めします。理解した上で、担当者と交流すると、課題がうまく進めます。

ドイツ語を少し学ぶといいです、英語は通じますが、ドイツ語を少し勉強した方が、現地の人との距離感がもう少し縮めたと思います。

8. 研修前と研修後で、自身の専門分野や国際理解に対する考え方に、どのような変化がありましたか？

ここで出会った研究者は、みんな助け合って、研究成果を出してます。他人が困ってる時にアドバイスをしたり、自分が困った時ははっきり助けを求めたり、研究成果を出すには、自分の力だけでは足りないということを知りました。私も今後、自分の努力だけではなく、他人とどうやって協働していくことを考え始めるようになりました。

9. 今回の研修に参加したことで、海外への留学に興味を持ちましたか？すでに興味を持っていた方は、その気持ちに変化はありましたか？

持ちました、違う文化を体験することは、最初は不安でたまらなかったんですが、実際に生活してみたところ、案

外この違いのおかげで色々会話ができて、楽しかったです。文化が違って、共通な部分があったり、そのおかげで仲良くなったり、こういう経験は、今まで初めてでした。おかげで、違う文化に向き合う勇気が湧いてきました。

**10. 今後 IAESTE での研修を考えている学生の方々へ、メッセージがあればお書きください。**

もしも海外の留学を考えているのであれば、イアエステのインターンの参加はお勧めです。この2ヶ月の研修は、私にとってとても貴重な体験でした。以前は英語圏の留学を考えていましたが、今回の経験で、ドイツ語圏の留学も考え始めました。